

生活の中で、よく似た言葉がたくさんあることにきょう味をもった山下さんは、よく似た言葉「あふれる」と「こぼれる」について調べて、発表することにしました。【国語辞典の一部】・【図書館の本の一部】・【発表資料】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【国語辞典の一部】

【あふれる】

・ いっぱいになって、こぼれる。

【例】 なみだがあふれる。

・ はみでるほどいっぱいになる。

【例】 町に人があふれている。

・ 満ち満ちている。

【例】 才気あふれる人。

【こぼれる】

・ いっぱいになって、あふれ出る。

【例】 なみだがこぼれる。

・ 外にもれる。

【例】 ごはんがこぼれる。

【図書館の本の一部】

(1) 「こぼれる」は、液体えきなどが、その入れ物より多すぎたり、入れ物からもれたり、あるいは入れ物がひっくり返ったりして、外に出る意。

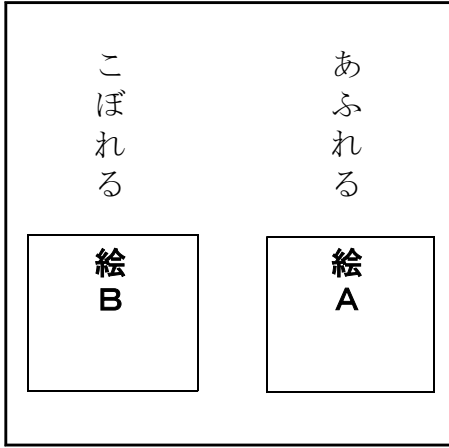
(2) 「あふれる」は、入れ物に対して物が多すぎておさまりきれなくなり、入れ物に入りきれない部分だけが外に出る意。

(3) 「こぼれる」は、「笑みがこぼれる」のように、内側のもものが自然に表にあらわれ出る意も表す。

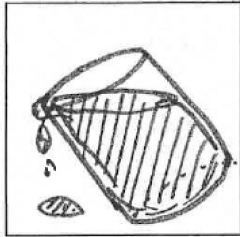
(4) 「あふれる」は、「才気があふれる」のように、はみ出しそうになるほどいっぱいになり、外にもれる意でも使われる。

―― 山下さんは、【国語辞典の一部】と【図書館の本の一部】をもとに、「あふれる」と「こぼれる」についてわかったことを、メモしました。次の1から4までのメモの中で、正しく内容が読み取れていないと考えられるもの一つを選んで、その番号に○をつけましょう。

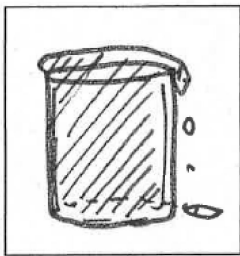
【発表資料①】



1



2



- 1 「あふれる」も「こぼれる」も、入れ物から外に出るといふところは同じである。
- 2 国語辞典では、「あふれる」の説明に「こぼれる」が、「こぼれる」の説明に「あふれる」が使われている。
- 3 入れ物がひっくり返って水が外に出たときは「あふれる」が、入れ物からもれて水が外に出たときは「こぼれる」が使われる。
- 4 満ち満ちているという意味が、「あふれる」にはあるが、「こぼれる」にはない。

二 山下さんは、二つのことばのちがいを明確に伝えるため、絵を使って説明しようと考えました。
【説明資料①】の **絵 A** ・ **絵 B** に入る絵の番号を書きましよう。

三 次に、山下さんは、【発表資料②】を見せながら、二つの言葉の使い方のちがいを次のように説明しました。

【発表資料②】

会場に人が	○	あふれる
なみだが	○	こぼれる
思わずなみだが	×	
水が	○	
川の水が	(ア)	
コップがたおれて水が	(ウ)	
受けたボールがグローブから	×	
	○	
	(エ)	
	(イ)	

(1) 【国語辞典の一部】や【図書館の本の一部】をもとに、【発表資料②】の表の(ア)から(エ)に、使われる場合は「○」、使われない場合は「×」を書きこみましょう。

(2) 山下さんは、【発表資料②】を見せながら、「あふれる」と「こぼれる」の意味のちがいを次のように説明しました。

② 山下さんの説明の  に入る言葉を、「ボールの数」という言葉を使って、三十字以上、四十字以内で書きましよう。

なぜなら、「グローブからあふれる」だと、

30字

40字

24

一 3

二 絵A
∴ 2

絵B
∴ 1

三

(1) (ア) ○

(イ) ×

(ウ) ×

(エ) ○

(2)

① ア

∴ はみ出しそうになるほどいっぱい満ちている

イ

∴ 内側のものが自然に表にあらわれ出る

②

例

ボールの数が一こではなくグローブに入りきらなくらいたくさんになるからで
す。(40字)